

# 大分県 啓推協だより 92

令和4年  
4月18日

～人権情報プラザ通信～

発行 大分県人権教育・啓発推進協議会（事務局） 大分県生活環境部人権尊重・部落差別解消推進課 電話097-506-3178 FAX097-506-1751

## 人権尊重社会づくり推進顕彰

県では、大分県人権尊重社会づくり推進条例に基づき、人権が尊重される社会づくりに寄与された方や団体を顕彰しており、この度、第13回目の受賞者（団体）を決定し、2月16日に表彰式を行いました。今後とも、多くの方が「人権が尊重される社会づくり」に取り組まれることを願っています。



写真は、向かって左から NPO法人 共に生きる（後藤美子さん、江藤裕子さん）、広瀬知事 渡邊明子さん、ミワテック株式会社（田邊隆博さん、田邊峰子さん）

受 賞 者			
氏名 団体名	渡 邊 明 子	ミワテック株式会社	特定非営利活動法人 共に生きる
団体概要 (代表者名・ 構成員人数等)	人権問題研修講師 元人権擁護委員	代表取締役 田 邊 隆 博 従業員数：104人	代表理事 江 藤 裕 子
功績概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンセン病元患者との交流の他、各地でハンセン病に関する講演会の講師として活躍している。</li> <li>●平成26年8月には別府市主催の「差別をなくす市民の集い」にて、元ハンセン病患者と共に講演会の講師を務めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●創業当初から、県の障がい者職業訓練生の受け入れ及び雇用に積極的に取り組んでいる。</li> <li>●障がい者が働きやすいように、出勤時間を本人の希望に合わせる等の工夫をする他、取引先企業とも連携し、障がい者雇用への理解を深めており、採用者の定着率も非常に高い。</li> <li>●あわせて、定年を70歳にするなど、高齢者の雇用にも力を入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発達障がい当事者のおしゃべり勉強会を毎月行い、多くの参加者に希望を与えている。</li> <li>●発達障がい当事者への理解を深めるため、県内各地で講演会を行なっている。</li> </ul>



大分県人権教育・啓発推進協議会 人権啓発講師

しん みほ こ  
進 美保子 さん

## 「どんな自分もマル！」

私の顔は上手にウソをつきます。皆さんはいかがですか？

今年の2月に父が他界しました。7年前に倒れて要介護5からスタートした自宅介護でした。

個人事業主の私は、父が亡くなった日もいつものように仕事の電話を受けます。

そして、私は笑い声で会話をします。

悲しくないわけではありません。悲しい。さびしい。空しい。心は震えています。それでも私は笑っていました。

私の顔は本当にウソつきです。

皆さんは、自分の感情にウソをついて、その場を取り繕ったことはありませんか？取り繕ったことで本当の自分の気持ちがわからなくなり、イライラしたり、モヤモヤしたり、よくわからないけれど不安だったり、焦りを感じたり。

私が入権を語る上で大切にしていることのひとつが「感情」です。ひとは生まれてきた「感情」にフタをして何もなかったかのようにふるまうことがあります。喜びや期待など一般的に「快」とされる感情なら表現するひとも多いかと思えます。でも、怒りや悲しみや恐れなど一般的に「不快」とされる感

情は、心の奥底に沈めて無視をしてしまうひともいらっしゃるのではないのでしょうか。

「快」の感情は私で、「不快」の感情は私ではないのでしょうか。どちらも大切な自分だと私は考えます。

タイトルの「どんな自分もマル！」は、その言葉のとおり生まれてきた感情すべて、愛しい自分と言う意味で書かせていただきました。

私たちの心は不安定になると他人を使ってバランスを取ろうとします。私にも経験があります。本当は言いたいことがあるのに本人には言えなくて、そのうっづんを言いやすいひとにぶつけてしまったこと。まだまだあります。勝ち目がないものだから、相手の弱いところを見つけてマウントを取ったこと。すべては自分の心を守るためでした。

ひとりひとりが自分にマル！を出せたなら。ひとりひとりが自分で自分のあるがままの感情を認めることができたなら。

自分の人権をはじめ、相手の人権、周囲の人の人権にも目を向けて考えられるきっかけになるのではないかと考えます。

自分の感情と向き合うきっかけ、自分の感情を認めるお手伝い。そして、その感情を大切にしながら生きるための背中を押すために、いまの私ができることは何かを模索しながら、これからも学びを深め、体感し、出会う方々と向き合って参ります。

## 人権入門講座のご案内

今年度も「人権入門講座」を開催予定です！

この講座は、「身の回りの人権について学んでみたい、人権啓発活動に役立てたい、人権啓発講師をめざしたい」といった方々に、人権課題の基礎知識を学んでいただくため、各分野の人権課題をテーマに開催しています。

詳細が決まりましたら、大分県ホームページ「こころちゃんの部屋」等でお知らせします。皆さまの受講をお待ちしております！

### 【参考】令和3年度の内容（計8講座）

1日目	①人権総論 ②部落差別問題
2日目	③女性の人権 ④企業と人権、ハラスメント ⑤コロナ差別問題
3日目	⑥性的少数者の人権 ⑦外国人の人権
4日目	⑧人権ワークショップ



月	事業計画
6月	大分県人権教育・啓発推進協議会総会 (予定)
	第47回 部落解放・人権西日本夏期講座 (6/9～10、沖縄県那覇市)
7月	人権入門講座・人権啓発市町村職員研修 (予定)
	人権ポスター作品募集 (7月上旬～9月上旬)
8月	第53回 高野山夏期講座 (部落解放・人権夏期講座) (8/22～23、和歌山県高野町)
9月	企業・団体啓発リーダー養成講座 (予定)
	人権サッカー教室 (9月～3月) (予定)

(注) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程、内容を変更することがあります。

## 新型コロナワクチンの接種に関連した 不当な差別はやめましょう

オミクロン株の感染予防と重症化予防には、ワクチンの3回目接種が重要です。ワクチンの接種は強制ではなく、ご本人の意思に基づき接種するものです。病気など様々な事情で接種を受けることができない方、受けることに注意が必要な方もいますが、残念ながらワクチンの接種を受けていない方に対する差別的な事例が発生しています。

### 差別的な事例

- 周りの人にワクチン接種を強要する。
- ワクチン接種の有無を周りの人に分かるように確認する。
- ワクチン接種を受けていないことを理由に、職場や学校で差別的な取扱いをする。

ワクチンの接種に関連する不当な差別をすることのないようご理解をお願いします。それぞれの事情に配慮した感染対策を考えましょう。

### ～人権に関する相談はこちらから～

大分県

人権尊重・部落差別解消推進課

TEL : 097-506-3181 (新型コロナ人権相談専用ダイヤル)

平日 8時30分～17時15分

Email : a13710@pref.oita.lg.jp



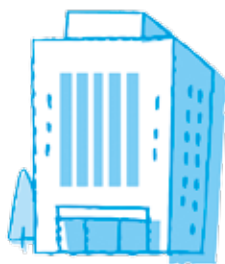
法務省

TEL : 0570-003-110 (みんなの人権110番)

平日 8時30分～17時15分

URL : <https://www.jinken.go.jp/> (インターネット人権相談)





# あなたの職場でも人権研修を始めませんか？

～初めて人権研修を行う企業・団体には講師を無料で派遣します～

大分県人権教育・啓発推進協議会では、企業・団体が実施する人権研修に講師を派遣しています。通常、講師への謝礼と交通費は主催者の負担となりますが、初めて研修会を実施する場合の謝礼は県が負担します。手続きは事前に申請書を提出し、研修終了後、研修結果報告書を提出していただくだけの簡単なものです。ハラスメントや性的少数者に関すること、新型コロナに関する差別などの取組が企業経営にとっては不可欠です。この機会に、あなたの職場でも、ぜひ人権研修を始めませんか。

申請等の手続きは、県のホームページに掲載しています。お問い合わせ先は下記のとおりです。お気軽にご相談ください。

**人権尊重・部落差別解消推進課（調整班） TEL 097-506-3174**

## 人権情報プラザをご活用ください！

どなたでもご利用できます。  
お気軽にお立ち寄りください！  
(県庁舎別館1階)

人権啓発DVD 視聴・貸出しができます。 = 新着DVDをご紹介します =

分野	タイトル	内容	時間(分)
部落差別問題	部落の心を伝えたいシリーズ 12年後の決断 ～吉岡綾～	結婚し、生活環境も激変する中、二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。	28
性的少数者	レインボーストーリーズLGBTsと社会 ①職場～声に出せないハラスメント～	無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つける。職場で起こりうるハラスメントなどの様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示す。	25
性的少数者	レインボーストーリーズLGBTsと社会 ③公共機関 ～誰もが安心して相談できる窓口へ～	LGBTsの人々を含む誰もが安心して利用できる公的施設の対応を考える。公的施設のみならず、LGBTsの人々への接客や応対を実践的に学びたい企業や団体などでも活用できる。	22
性的少数者	レインボーストーリーズLGBTsと医療 ②誰もが安心して通える病院づくり	誰もが安心して受診できる医療機関であるための環境づくりが求められているが、LGBTsの人々にとっては様々な障壁が存在する。LGBTs当事者やその家族が通いやすい病院や診療環境づくりを考える。	23
ハラスメント	日頃の言動から考える 職場のハラスメント	職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説。7つのチャプターで構成。	29

### 人権関連図書

閲覧・貸出しができます。  
話題の新刊も取り揃えています！  
新着情報は随時 県庁HP「こころちゃんの部屋(こころちゃんの本棚)」でお知らせします！

### 人権啓発パネル

貸出しができます。  
様々な人権啓発イベント等でご活用いただいています！

### 人権相談

相談された方が、主体的に問題解決に取り組めるよう助言や情報提供を行います。



▲こころちゃんの部屋はこちら



大分県  
人権啓発イメージキャラクター  
こころちゃん

## 職場の人権研修に取り入れてみませんか？

企業・団体において「人権感度の高い組織づくり」に向けた取組を行うことは、自社(団体)の社会的イメージの向上や、従業員のモチベーションや業績UPにもつながります。今回は、人権研修を効果的に実施するために、アンケートを活用した2つの事例をご紹介します。皆さんの職場でもぜひ取り入れてみませんか？

### 事例① 事前アンケートの活用

【玖珠町社会福祉協議会 職場研修】

- 研修テーマ「ハラスメント」
- 開催方法「会場対面型」
- 事前に研修テーマに基づくアンケートを実施
- 講師はアンケート結果を踏まえた研修を実施

#### 主催者の声(管理部 春田さん)

事前アンケートにより研修の意識付けができ、現状や実態の結果が数字として見え、本人の意識はなくてもハラスメントを感じている人がいるという事実を管理職含め参加者で共有できました。また、講師がアンケート結果や事前の質問に事例を踏まえて回答してくれたことで、問題の難しさを理解し、一人ひとりの意識が大切だと気づくことができた大変有意義な研修となりました。

### 事例② 受講後アンケートの活用

【大分県4局合同人権・部落差別問題研修会】

- 研修テーマ「部落差別問題」
- 開催方法「録画視聴」
- 参加申込者には研修後の「習熟度チェック」を予告
- 受講後アンケートに習熟度チェック項目を追加

#### 主催者の声(人事委員会事務局 藤澤さん)

今回は録画視聴での開催で、対面と違い、講師が参加者の反応・理解度を見ながら進めるという形ではなかったため、アンケートの実施は参加者がきちんと研修を理解したかどうかの確認が1番の目的でした。設問には研修のキーとなる部分を取り入れていたこともあり、回答のため動画を見返す職員も多く、結果的に深い学びにつながったと思っています。